



学校だより

教育目標 自主自律 創造性
豊かな心 健やかな身体
校訓 井草魂～自主、不屈の精神、共感・共働の心～

令和 5 年 4 月 28 日

杉並区立井草中学校
校長 田口 克敏

「危機への対応とは」

校長 田口 克敏

176 名の新入生を迎えた入学式から早 3 週間、学級づくりが進み、授業も開始され、部活動の態勢も整いつつあり、令和 5 年度も本格的に動き始めています。明日から始まる「ゴールデンウィーク」。途中 2 日間の授業日が挟まりますが、年度当初のあわただしさをリセットするには良い機会です。連休明けには新型コロナウイルス感染症の「5 類相当」への引き下げも決まっているため、国内各所は相当の人出でにぎわうことが予想されています。生徒にとっても保護者の方にとっても良い時間となることを願っています。

さて、先日アフリカの「スーダン共和国」において内戦が勃発したことを知らせる報道がありました。「スーダン共和国」は、2011 年に南部 10 州が独立し「南スーダン共和国」を形成しましたが、その前後から政情が不安定な状態が続いています。現地には、日本国大使館や JICA などをはじめとした駐在員とその家族がいるため、先週来退避に向けた対策が急ピッチでとられています。それらの報道を見ながら、日本人学校での滞在中のことを思い出していました。

2015 年から 3 年間、私は南米のパラグアイ共和国にある「アスンシオン日本人学校」に派遣されました。そこは戦前から日本人の移住が始まり、特に農業分野における日本人の貢献がパラグアイ社会の発展にも大きく寄与したため、現地では日本人に対する親近感が強く、また多くの日系人が政治・経済・文化等の各分野で活躍しています。アスンシオン日本人学校は「極小規模」の学校のため小学 1 年生から中学 3 年生まで合わせても 15 名程度しかおりません。そんな中でも、日本のカリキュラムをベースとした教育体制が整えられており、実技教科以外は「教科担任制」が敷かれ、そのために「1 対 1」の授業も珍しくありませんでした。不思議なもので海外にあっても日本人が学ぶ学校は、ほとんど日本の学校を「移植」したような「歳時記」で物事が進みます。そうした行事の中に「避難訓練」もありました。着任初年度は従来からの「スクールバス」が子供を乗せた状態で「事故」を起こしたとの設定で、タクシーを手配して学校や自宅まで届け、保護者等への連絡手順を確認するなどの訓練やいわゆる「火災」を想定した訓練が中心でした（「地震」は、あの国ではほぼ「皆無」ですので対象にはなりません）。

しかし、私は国情に合わせ「想定外の想定」を意識した訓練をする必要性を強く感じ、2 年目から次のような想定の訓練も入れました。①クーデターが発生し市民によるデモの情報が入り学校に留まることが危険と判断され日本国大使館に避難する②唯一の出入り口である「正門」を警備する「国家警察」の警備が、侵入者たちに撃ち合いの結果突破され敷地内に侵入、職員は子どもたちを連れて敷地内に確保している「シェルター」に立てこもる、など日本では考える必要がない訓練を実施しました。日本では「水と安全はタダ」と言われていますが（最近はそうでもないと思います）、海外では「水も安全も有料」です。身を守る術を日頃から意識したり訓練したりすることがとても重要なのです。

ただ、ありとあらゆる「想定外の想定」を行うことは現実的ではありません。ではどうすればよいか。その答えとして私が思うことは、できるだけ多様な壁や困難を乗り越える経験を積み、自分への信頼感をつくることと危機に直面したときにまずは「平静さ」を強く意識することが、ほとんどの危機対応に有効ではないか、ということです。生きていけば様々な壁や危機に出遭います。それらを避けさせることもひとつの手立てかもしれませんが、壁は乗り越えてみなければ乗り越える方法は身に付きません。危機もまた同じことです。その経験から人は知見を学び、未知の壁や危機と出遭ったときに最善の策を見出していくものと考えますし、生徒たちも将来そうなるものと思います。

世界に目を転ぜずとも、生徒たちの日常においても様々な壁やある種の危機は存在します。それらに対して大人である私たちは、ただ単にそれらを取り除こうとするだけでよいのか、敢えて直面させつつ手立てを考える助言をすることで生徒自ら乗り越える体験とさせていくことも必要ではないか、と迷いをもちつつ考えます。

第76回杉並区立井草中学校入学式

令和5年4月7日

176名の新入生が入学しました。



新入生代表の言葉

命が生き生きと活動を始めると春の日、私たちは井草中学校の入学式を迎えました。本日は私たちのためにこのような素晴らしい式を開いてくださり、本当にありがとうございます。今日から私たちは中学生です。新しい制服に袖を通し、今までとはまったく違った日々が待っています。どんな毎日が待っているのだろうととてもワクワクしています。

私は小学校の六年間で色々なことを学びました。クラスメイトと一緒に受けた授業や、準備した行事などを通じて、私が一番大切にしていきたいと思ったことがあります。それは、人を思いやる心です。一人一人を思いやり、尊重すること。

私は野球をやっています。私がエラーをしてしまった時には、仲間がカバーしてくれます。仲間が打てず、点をとることができない試合で、私がホームランを打ち、勝利を呼び込んだこともありました。

誰にでも得意なこと不得意なことなことはあります。それを認め合い支え合うことこそ、思いやる心だと私は思っています。

中学校では野球と同じくらい勉強も頑張ります。算数も数学に変わり、きっと、壁にぶつかることもあると思います。そんなときには、仲間や先生に積極的に質問して解決していきたいです。

これから共に学ぶ井草中学校の仲間たちと、思いやりの心を忘れることなく、一步一步確実に立派な中学生になれるように頑張っていきます。

先生方、並びにご来賓の皆様、地域の皆さん、これから私たちのことを温かくそして時に厳しくご指導していただきますようお願いします。



令和5年4月7日

新入生代表

〈5月の行事予定〉

日	曜	行事	日	曜	行事
1	月	全校朝礼 安全指導	16	火	フレンドシップスクール(1年) 始
2	火	体力調査始	17	水	学力向上を図るための調査(3年) 尿検査(予備日) フレンドシップスクール(1年) 終
3	水	憲法記念日	18	木	耳鼻科検診(2年・i組)
4	木	みどりの日	19	金	専門委員会 食育の日
5	金	こどもの日	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	生徒朝礼(Teams)
8	月	生徒朝礼 尿検査一次 教育面談(i組) 始	23	火	尿検査二次
9	火	区特定課題調査(3年) 尿検査一次予備日	24	水	心臓検診(1年全・2年3年該当者) 尿検査二次追加回収
10	水	内科健診(2年)	25	木	歯科検診(1年) 放: 生徒総会リハーサル
11	木	危機対応訓練 教育面談(i組) 終 耳鼻科検診(1・3年)	26	金	⑤生徒総会
12	金	英語「話すこと」調査(3年) 中央委員会	27	土	
13	土	土曜授業 情報モラル教室	28	日	
14	日		29	月	学力向上を図るための調査(2年) 保護者会(i組)
15	月	全校朝礼(Teams) 教育実習始 ⑥前日指導(1年)	30	火	
			31	水	